

お国自慢



クボタ環境サービス(株)

伊佐市

住みよさいちばん。「伊佐」 人と人 人財が躍動し、まちを熱くする 伊佐市衛生センターきらり館

1. はじめに

伊佐市は鹿児島県本土の最北に位置し、西に出水市、南西にさつま町、南東に湧水町、東に宮崎県えびの市、北東に熊本県人吉市、北に球磨郡球磨村と水俣市に接しています。また、大口盆地を形成しており、平地の中央部を川内川とその支流が流れ、これらの水系を中心として広大な水田がひらけています。

滝幅日本一を誇る「東洋のナイアガラ」曾木の滝や、全長2kmにも及ぶ桜並木を誇る忠元公園などに代表される、自然豊かな観光スポットを有しています。

一方で、1963年から始まった「おぎゃー献金」発祥の地であり、子育てに優しいのはもちろんのこと、まちが持つ都市力を「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」「住宅水準充実度」の5つで評価した「住みやすさランキング2014」（東洋経済新聞社調べ）で鹿児島県1位を獲得しており、都会からの移住にも力を入れています。

2. 施設の紹介

伊佐市衛生センターきらり館は2018年3月に竣工しました。汚泥再生処理センターとして、水処理には「浄化槽汚泥の混入比率の高い脱窒素処理方式+高度処理」を採用し、無色透明できれいな水を安定的に放流しています。資源化には「助燃剤化」を採用し、含水率を70%以下にし尿等と余剰汚泥を脱水し、助燃剤とし

て有効利用する施設となります。また、曾木の滝から程近い場所であるため、周辺環境に調和する意匠・配色を施し、田園風景と歴史的な建造物を有する伊佐市をイメージしています。

3. 施設の概要

施設の概要は以下の通りです。

- ・施設名称：伊佐市衛生センター きらり館
- ・所在地：鹿児島県伊佐市大口曾木 4340 番地
- ・敷地面積：13,182.27m²
- ・処理能力：78kL/日
 - ◎し尿 27 kL/日
 - ◎浄化槽汚泥 51 kL/日
 - (その他の有機性廃棄物 1 kL/日を含む)
- ・処理方式
 - ◎水処理/浄化槽汚泥の混入比率の高い脱窒素処理方式+高度処理
 - ◎資源化/助燃剤化



施設全景

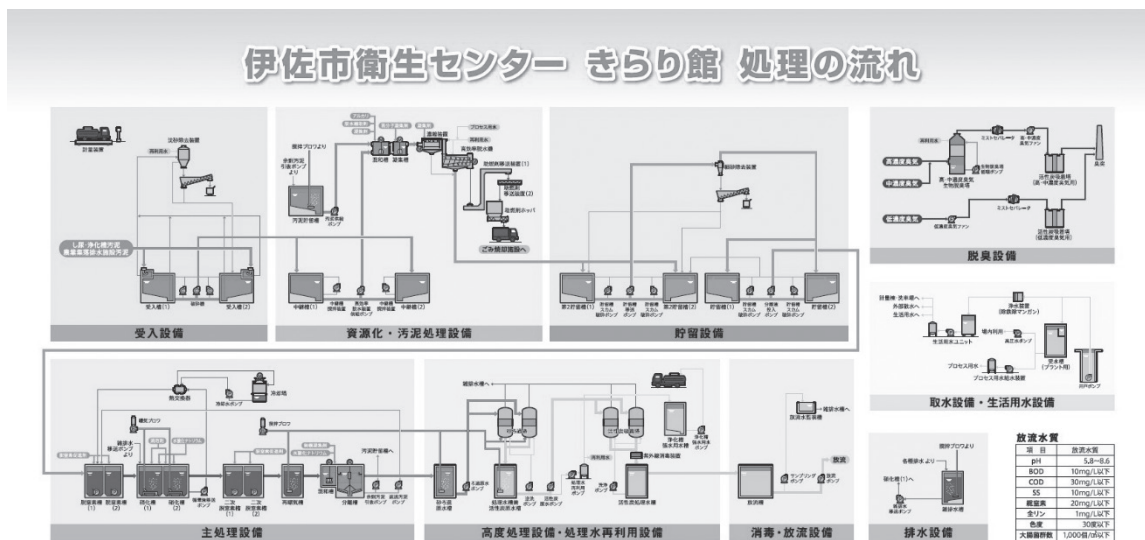


図1 伊佐市衛生センター きらり館 処理フローシート

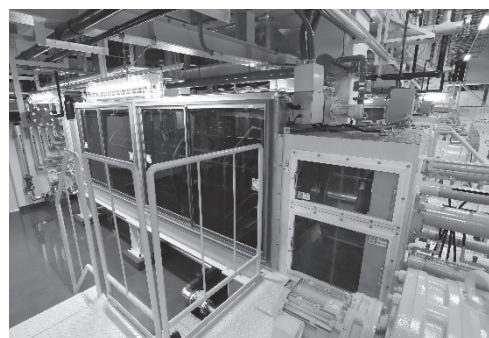
4. 施設の特徴

本施設では高効率脱水機を採用しており、受入施設から移送されたし尿と浄化槽汚泥を主処理設備で発生する余剰汚泥とともに含水率70%以下まで脱水し、助燃剤として有効利用されます。

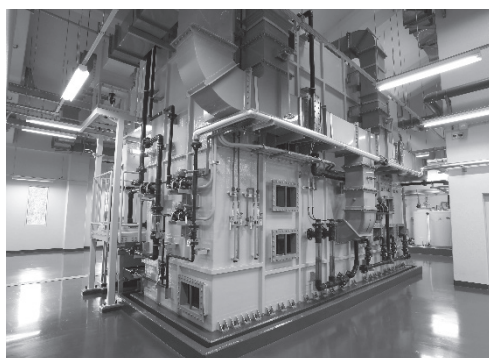
低含水率の助燃剤を安定的に製造するため、高効率脱水機には脱水時の圧力を検知し、自動的に加圧板を開閉する、閉塞防止機構を採用しています。

「浄化槽汚泥の混入比率の高い脱窒素処理方式」は脱水分離液を主処理設備で活性汚泥により硝化脱窒処理しますが、硝化に必要な酸素を効率的に供給するため、通常の散気管と比較して約3倍の酸素溶解効率を有する高効率散気装置を採用しています。これにより省エネルギーにも配慮した施設となっています。高度処理には実績が多数ある砂ろ過+活性炭吸着を採用しています。

曾木の滝に程近い立地であることに配慮し、受入設備、資源化・汚泥処理設備等から発生する高濃度臭気、主処理設備等から発生する中濃度臭気は充填型生物脱臭塔により処理し、その後活性炭吸着塔を通して万全の脱臭処理を行った後に大気に放出します。充填型生物脱臭塔は



高効率脱水機



生物脱臭塔

微生物の力で臭気を分解するため、薬剤の使用を極力抑え、環境に優しい脱臭処理を実現しています。

伊佐市の紹介

伊佐市は鹿児島県本土の最北に位置し、南国に位置しながら冬期は-9℃まで低下する「鹿児島島の北海道」とも呼ばれる米どころでもあります。「曾木の滝」に代表される雄大な自然と国指定重要文化財「郡山八幡神社」など歴史と伝統にあふれた魅力満載の土地です。

◇「東洋のナイアガラ」曾木の滝

滝幅210m、高さ12mの壮大なスケールを誇り、「東洋のナイアガラ」とも呼ばれる曾木の滝。平成百景にも選定されています。

千畳岩の岩肌を削るように流れ落ちる水流とその轟音は、訪れる人々を釘付けにするほど豪快な大迫力の観光スポットです。



曾木の滝

◇「焼酎発祥の地」郡山八幡神社

建久5年(1194年)、豊前宇佐八幡の神霊を勧請し、建立したのがこの神社であるといわれています。建築様式に室町・桃山形式の手法と琉球建築の情緒が見られる神社で、国の重要文化財に指定されています。本殿が復元補修された際に永禄2年(1559年)の大工の落書が発見され、そこに「焼酎」との記載がありました。これが「焼酎」という文字の初見であり、伊佐が焼酎発祥の地とされる由縁です。



郡山八幡神社

◇「日本の桜名所百選」忠元公園

市街地を見渡せる小高い丘にある忠元公園は、千本桜で有名で、1990年には「日本の桜名所百選」に選定されています。園内の桜並木は2kmに及び、桜の見頃になると約1,000個の提灯が燈り、夜桜を楽しむ客で賑わいます。公園内には大口の地頭であった島津家随一の武将新納武蔵守忠元公を祀る忠元神社が建立されています。



忠元公園

◇伊佐が誇る特産品(一部)

◎伊佐米

県内一の生産面積と生産量を誇り、古くから「薩摩の米蔵」とされています。四方の山々から流れ込む豊潤な水と盆地特有の日中の寒暖差が「おいしい米」をつくりだします。



◎伊佐焼酎

良い水と米に恵まれ、イモ焼酎の名産地として全国的に知られている伊佐。焼酎を毎日適量にたしなむこと(だれやめ)が、日々の安らぎと明日への活力を与えてくれます。



伊佐焼酎の銘柄